

災害・オウム対策調査特別委員会 陳情関連資料

令和2年8月24日

件名	頁
1 元受理番号24 医療的ケア児や重症心身障害児の災害対策に関する陳情・・・	2

(危機管理部)

災害・オウム対策調査特別委員会陳情関連資料

令和2年8月24日

件名	元受理番号24 医療的ケア児や重症心身障がい児の災害対策に関する陳情
所管部課名	総合防災対策室災害対策課、障がい福祉推進室障がい福祉課
内容	<p>令和2年7月8日に開催された災害・オウム対策調査特別委員会において、資料要求があったので、下記のとおり、関連資料を提出する。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 提出資料</p> <p>(1) 足立区肢体不自由児者父母の会の資料（令和2年1月30日） （別紙1：3ページから18ページ）</p> <p>(2) 足立区重症心身障害児(者)を守る会の資料（令和2年2月12日） （別紙2：19ページから21ページ）</p> <p>(3) 令和元年台風19号対応に係る意見交換会の足立区資料（両日共通） （別紙3：22ページから29ページ）</p>
問題点 今後の方針	

台風19号を経験してアンケート集計 アンケート回収 101名

【性別について】

男性 46名 女性 55名

【年齢について】

10代	7名	20代	30名	30代	28名
40代	25名	50代	10名	60代	1名

◇障がいのあるお子さんは当日自宅にいましたか？

● 自宅 91名 男性44名 女性47名

10代	7名	20代	29名	30代	27名
40代	20名	50代	7名	60代	1名

● グループホームまたは入所施設 (6名 男性1名 女性5名)

20代	1名	40代	2名	50代	3名
-----	----	-----	----	-----	----

● その他 (4名 男性2名 女性2名)

30代...	1名	40代...	3名
--------	----	--------	----

1 台風接近で大々的に危機管理のニュースを聞き、準備・購入したものはありますか？

● 準備・購入した

おにぎりを作った	ご飯を多めに炊いた	車にガソリンを給油
風呂に水を張った	トイレ用の水を用意した	充電をした
窓にガムテープを貼った	ベランダを片付けた	
ハザードマップをみて確認した	避難するときの持ち物をカバンに詰めた	

● 準備・購入しようとした店へ行っただが品切れだった

水	飲み物	食糧	衛生用品	おむつ	カセットコンロ	ガスボンベ
電池	ライト	テープ	ひも	タオル	ブルーシート	葉
ビニールシート	袋	パネル	ペット用品			

● 準備・購入しなかった 28名 男性...12名 女性...16名

理由

非常食を準備していた 買い置きで足りる グループホームに任せている

2 あなたは区のホームページやAメール、SNSを活用し、足立区の防災、災害情報を得る手段はありましたか？

あった ... 81名 (手段は下記) 無かった... 10名 無回答... 10名

多い順

Aメール 携帯電話 TV 足立区ホームページ メール スマホ
 家族・近所から連絡 インターネット SNS 足立区より電話
 NHK防災アプリ 防災無線 エリアメール ツイッター
 足立区防災アプリ Jアラート ラジオ ヤフー防災アプリ

3 避難指示など防災無線は聞こえていましたか？

● 聞こえた 43名 意見 → 窓を開けて耳をすませて聞いた

10代 4名 20代 14名 30代 9名
 40代 13名 50代 3名 60代 0名

● 聞こえなかった 54名 (聞こえない) 何を言っているかわからなかった

10代 2名 20代 16名 30代 19名
 40代 11名 50代 5名 60代 1名

● 無回答 (4名)

10代 1名 40代 1名 50代 2名

4 あなたは自宅以外の場所へ避難しましたか？

● はい 17名 男性 8名 女性 9名

10代 3名 20代 4名 30代 3名 40代 4名 50代 3名

● いいえ 84名 男性 38名 女性 46名

10代... 4名 20代... 26名 30代... 25名
 40代... 21名 50代... 7名 60代... 1名

*はい の方にお聞きします

● いつ避難しましたか？

5時～11時...4名 12～15時...4名 15～18時...7名
18時以降...1名 未記入...1名

● 避難方法は 徒歩7名 ●車8名 公共交通機関 1名 未記入 1名

車...2組 徒歩...4組

● 何人で避難しましたか？ 2人...2組 3人...1組 4人...2組 6人...1組

● どこへ避難しましたか？

足立区の施設...6名	鹿浜五色さくら小学校	谷中中学校	新田学園
	第十中学校	花畑小学校	総合スポーツセンター
親戚の家 ...7名	区内2	区外2	未記入3
その他 ...4名	区内2	未記入2	

● いつ避難しましたか

11時...1組 15時...2組 16時...1組 16時半...1組 17時...1組

● 受付等の対応はいかがでしたか

よかった...5名 未記入...1名

● 避難する際に持参したものは何ですか？

多い順

着替え	おむつ用品	常用薬	食べ物	水	タオル	食事セット
貴重品	スマホ	ライト	布団	充電機器	ペット	ぬいぐるみ
大人用おんぶひも	マット	ラジオ	ラップ			
子どもの医ケア道具および保冷用品						

*いいえ の方にお聞きします

● あなたは何階に住んでいますか？

1階 ...3名 2階 ...23名 3階 ...8名 4階以上 ...23名 無回答...27名

● どうして避難しなかったのですか？

※ 自宅から出るのが困難

一人で移動は無理 荷物が多いので 複数の介護がいる
 子供は見知らぬ環境だと大きな声を出す エレベーターが雨漏りで停止したため

※ 外にでるのが危険

雨風が強くて危険 暗かったので 無理な移動で子供が体調をくずすので

※ 自宅の利便性・安全性

自宅は高台にあるため 大規模な集合住宅なので 新築のため
 危険になったら垂直避難できるため

※ 避難所について

行ってみたが混雑のため帰宅 SNSやニュースで満員とあった
 あとから家族が来て満員だった場合、受け入れてもらえるかわからなかったので
 避難所が遠かった 自宅より低地に避難所は自宅より低地だった
 避難所の設備（駐車場、電源 エレベーター）が不明だった

5 区内全域に避難勧告→氾濫警戒情報(警戒レベル3)→氾濫危険水位(警戒レベル4)
 そして国土交通省の緊急メール（Jアラート）が鳴るなど夜が深まるにつれ警戒が
 強まるなか避難を考えましたか？

避難した...17名 様子を見た...11名 考えなかった...55名
 悩んだが考えなかった...6名 移動が無理なので考えなかった...6名
 無回答...6名

6 台風当日はどのように過ごしましたか？

普段どおり 早めに入浴 外の様子を何度もみた SNSで情報をみていた
 TVをみていた 避難用品をまとめていた

7 体調について

台風19号の接近・直撃で体調などに変化はありましたか？

※ 変化がなかった（83名）

10代...5名 20代...24名 30代...21名
 40代...24名 50代...9名

足立区肢体不自由児者父母の会

※ 体調に変化があった（18名）

10代 ... 2名	20代 ... 6名	30代 ... 7名
40代 ... 1名	50代 ... 1名	60代 ... 1名

※ 体調を崩した人（18名）

子供 ... 6名 親 ... 7名 家族 ... 3名 不明 ... 2名

子ども・・・ぜんそく 発作 違う布団による褥瘡

親 ・・・頭痛（4名 前日から頭痛1名）
 胃痛・動悸・睡眠不足・避難先の床による体の痛み
 疲労感およびふらつき（台風後）

家族 ・・・かぜ 睡眠不足・腰痛

8 今回の台風直撃で感じたこと・不安や困ったことなど自由意見

避難に対しての不安や思い

- ・避難時期の判断が難しいと思った。
- ・本来、地震での対策では開くはずの通所施設が水害では開かないのは知らなかった。
- ・障がい者がいると遠慮があり避難所へ足が向きません。
- ・避難することで周りに迷惑がかかるのでは？と思い自宅で過ごした。
- ・健全な人が考えて決める避難の仕方では私たち障がいのある者の家族は救ってもらえないと痛感した。避難先で大声を出せばうるさい!と言われオムツを変えるところもなく、プライバシーもない体育館で本当に障がいのある人が避難しても大丈夫と思っているのですか？

障がい児者への対応等について

- ・事前に計画対応を的確にするようお願いします。
- ・電気が止まったらマンションに住んでいるためミキサー食などの食事の準備ができなくなる。
- ・身体の不自由な家族がいる場合、一般の避難者と一緒には難しい。一次避難、二次避難の区別をはっきりしてほしい。不自由な中、2度の移動は絶対に無理。いままでは地震のための対策でしたが、水害についても考えてほしい。

避難場所についての質問や意見・要望

- ・車で避難した場合、避難先で駐車できるのでしょうか。
- ・息子を連れて避難できる場所がなくてとても困った。今後このようなことがあった時どうしたらよいか不安。
- ・一人で子供を連れて避難するのはとても大変だと感じた。現実的にとても避難できるとは考えられない。
- ・地震時と水害時の避難場所は別にしないと無意味では？と感じた。
- ・スロープや車いす対応のトイレがある学校や通所施設に避難できるといい。
- ・早めの避難は良かったし勉強になった。高齢者・障がい者など移動が困難な人たちは最初からそれ相応の避難所の開設をお願いしたい。

足立区肢体不自由児者父母の会

- ・アレルギーがあるので動物と一緒に避難場所には行けないので指定してほしい。
- ・福祉避難所はいつ・どのタイミングで開設されるのでしょうか。
- ・スーパーの屋上など高いところの駐車場を開放してほしいと思った。
- ・今回のように広範囲での洪水や氾濫が起きてしまうと逃げたくても行くところがない。
- ・避難する方は歯ブラシ、おしりふき、紙おむつ、スリッパ、バスタオルを持参すると便利。避難する際、車で行っても良いのか否か分からなかった。
- ・昼過ぎに福祉事務所から早々と安否確認がありました。人工呼吸器を使用している方にご連絡しています。避難しますか？の確認でした。それより駐車場、エレベーター、医療機器の電源が確保できる避難場所を教えてください。

エリアメール等について

- ・避難者用の電話番号も教えてもらったがリアイダルするも全くつながらなかった。
- ・緊急メール、Aメールが頻繁に鳴るなか、どの時点で避難すべきなのか？避難してからの子供の事や周りの人に嫌がられるのでは？など一人で連れていくことができるのか不安。

各家庭で...

- ・今回の経験は非常に勉強になった。
- ・いざとなったらみな我が身...やはり家族できちんと対応していけないのだと思った。助けを待っていたら死んでしまう。
- ・周りの人たちが避難しているか分からなく少し不安になった。
- ・メディアに多少惑わされているところもあるので、ちゃんとした確かな情報がほしい。
- ・訓練の大切さを感じた。
- ・要支援者だから誰かが助けてくれることは無いと考えておいたほうがいい。自分の家庭は自分が守るしかないと思った。
- ・洪水になった場合、膝丈でも大人一人では水の中を歩くのは困難だとテレビで聞いた。車いすを押しての避難は絶対無理だと理解し、早めの準備と避難が必要だと改めて考えさせられた。
- ・東京防災を出してよく読んでもう少し準備をしておかなければと思った。

※情報交換会に向けての自由意見は抜粋し掲載させていただきました。ご了承ください。
なおアンケートに記載のすべての思いは足立区、法人へ提出させていただきます。

足立区の避難所にいった感想

◎ 新田学園 15時 4人で避難

荒川が決壊すると浸水ではなく水没してしまうので、命を守るために避難しました。大勢のなかで体調も不安でしたが、看護師さん、介護士さんがいて安心感もありました。結果的には家にいても大丈夫だったのですが、今回は早めに避難して正解だったと思います。学校、避難所の方も初めてのことなのでバタバタした感じがありました。夜、急にまた4階まで移動がありました。

◎ 十中 17時 4人で避難

娘が2人応援に来てくれましたが、我が家がマンション1階で、垂直避難が階段でできず、水害の恐れがあったので、近くの避難所が開くの見に行きました。その後電話で想定していた場所が開かないことを知り、開いたばかりの十中を見つけ準備をして出発。同じ場所に知り合いの障害者家族の方がいたので、台風が収まるのを待ち帰宅しました。

◎ 花畑小学校 15時 2人で避難

体育館にトイレがないため、雨風の中、一度外に出て校舎のトイレを使うのが大変でした。

◎ 総合スポーツセンター 16時 3人で避難

たった半日の避難、情報が入らず何もわからなく不安でした。3階の広い体育館に薄いマットだけ、空調がきいていてとても寒かったです。

◎ 谷中中学校 11時 6人で避難

前もって避難所を調べて、できたら校内、施設内を下調べしておくといいと思った。早めの避難は良かった。あとから来た人たちのスリッパがなくなっていたので上履きのような靴も必要なのかも。

◎ 鹿浜五色さくら小学校 16時半 2人で避難

避難するまで葛藤がありました。車いすなのでほかの人の邪魔になるのでは？など実際に避難したら気持ち的に楽になりました。必要なものなど実際に体験するとわかり勉強になりました。最初は一般の避難所に行くつもりはなく、福祉避難所へ行くつもりでした。足立区に問い合わせましたが開設しておらず、福祉避難所はいつ開設されるのか知りたかった。父母の会で以前、荒川氾濫の件が取り上げられたので、比較的落ち着いて行動…事前準備ができました。知人は買いたいものが売り切れだったという人が多かったです。避難所での娘の行動が心配でしたが、本人は楽しかった。帰りたくない。と言っていました。ペットを連れてきた人が数名いたので癒されました。水、オムツ、食事、毛布などが配られ有り難かったです。

2020年1月30日

台風19号を経験して アンケート 自由意見 (年代別・男性)

(10代男性)

▼障がい者がいると遠慮があり避難所へ足が向きません。

▼あれだけの雨と風の中、避難所へ移動するのは…と思い、いつもは1階で寝ていますが自宅2階に移動して寝ました。綾瀬川の近くに住んでいるので浸水が怖かった。

▼電気・ガス・水道が止まるのでは…という不安はあり、いろいろな物の充電などをした。いつも最低限の準備は必要だと思った。

▼最寄りの避難場所は加賀中ですが低層なので浸水しそうで避難しなかった。

地震の時と水害の時の避難所は別の場所にしないと無意味では？

車水没を防止するためにスーパーの屋上Pなど高い所の駐車場をあちこち開放するなどしてほしい。道が悪くなって困った時でも避難できるよう車イスに取り付けられるJINRIKIを給付券で買えるようにしてほしい早急に！【JINRIKI…他の区では特例補装具と日常生活用具の申請ができるようになった】

(20代男性)

▼避難しようかどうしようかととても迷った。避難場所が遠いため途中で災害にあうのではないだろうか？と自宅での垂直避難を選んだ

▼今回のような広範囲での洪水や氾濫など起きてしまうと逃げたくても行くところがない。荒川や綾瀬川・中川が氾濫しなくてよかった。台風接近、直撃するかもと報道され、あわててスーパーに。食べ物など

数日日持ちするものは手に入りにくい。

▼避難することで周りに迷惑をかけるのでは？と思い自宅で過ごした。もし水位が2階以上になっていたらやはり早い段階で避難しておくことで、安全を確保できるのかと考えさせられた。水害と風のための家の損傷など、何があるかわからないと心配になった。隣の学校に避難した人から体育館から夜遅くに校舎2～3階に移動した話を聞いて、一人で子どもを連れて避難するのはとても大変だなと感じた。ご近所の方が心配して声掛けしてくれたことは嬉しかった。

▼河川の氾濫があった時に浸水が心配でした、災害があって避難するためのおんぶひもは購入してありました。最悪、夫におんぶひもで息子を運んでもらおうと思いました。今回は雨が降り出す前に避難所ができれば息子を連れて避難したかもしれません。地震のときは予測できないので常に準備をしておかないといけないと感じました。(誰でもわかるように)

▼電気・ガス・水道が止まったらどうしようとそれが一番不安だった。親子二人だけだと現実的にとても避難できるとは考えられない

▼まず高齢者、障がい者への避難勧告だったが雨風が強まる中、本当に避難できると思ったのでしょうか。歩くのが困難と思われる人には、歩けるうちに避難を呼びかけるべきと思いました。それに避難しろと言いつつ避難所は自宅近くにはない【我が家から2kmくらい先のところ】というのでは、どうやっていけるわけがない。健全な人が考えて決める避難のしかたでは私たち障がいのある者の家族は救ってもらえないと痛切に実感しました。普通に歩いて避難できないです。車いすを押してオムツや着替え、食べ物や背負って、雨に濡れないようにしっかり雨除けして。でも濡れて。こうやって避難していくのです。避難先では大声出せばうるさいって言われ、オムツを変えるところもなく。そういうこと本当に分かっていますか？みんな一緒にプライバシーもない体育館で本当に障がいのある人が避難しても大丈夫と思っているのですか？外国の災害先の避難先で家族に一つのテントを出してそこで過ごしているのを見て、なんて進んでいるんだと思ったことがあります。困った時はお互い様だけとやっぱりプライバシーは真先に重視されるべきではないでしょうか。「避難しているから我慢するのは当たり前っていうのは違うよ」っていつてくてもいいと思う。避難しているからこそ快適に過ごすべきと考え方に改めてほしい。

▼息子を連れて避難できる場所が無くてとても困りました。今回は氾濫がなかったのでよかったです。今後またこのような事があった場合どうしたらよいかとても不安です。人混みが苦手だし、車いすだし。普通の避難所で過ごすことができるかとても心配です。せめてスロープや車いす対応のトイレがある場所に避難したいです。できればいままで通っていた学校や通所施設に避難できればよいと思いました。(ただ、綾瀬あかしあ園は川の隣なのでちょっと無理なように思いました)

▼荒川土手近くの住まいがあるため、かなり不安がありました。舎人あかしあ園や支援学校などにも行かれたらよかったのに…と思いました。今回は水害が不安なため高台の一次避難所に行きました。二次避難所は自宅と変わらないためうつされることもなかったです。初めは要支援の方のいる部屋だったのですがその後、上の階へ移動したため仕切りのない大勢の方と一緒にになってしまいました。新田学園の第二校舎も開放してもらえたらよかったのにと思いました。

▼避難しようかどうしようかとても迷った。避難場所が遠いため途中で災害にあうのではないだろうか？と自宅での垂直避難を選んだ

▼浸水暴風による家への被害を考えると不安だったので早めの避難は良かったし勉強になった。それほど人がいない時の避難だったので保健室を提供していただけたのは有り難かった。エレベーターがある施設までは車がないと行けないし、行ったとしても施設内には駐車できない。余裕がないとエレベーターのある避難所へは難しい。考えられないような台風が予想されるなら、高齢者・障害者など移動が困難な人たちには最初からそれ相応の避難所の開設をお願いしたいです。

▼後でテレビなどのその他の地域の方の被害状況を見て反省しました。早めの避難が必要だと感じましたが避難所には迷惑がかかると思うので近くの実家に行こうと思います。おばあちゃんも心配なので。

▼友人の不確かな情報に惑わされそうになった。川の氾濫情報などが錯綜した。

▼電気が止まったらマンションにすんでいるため、ミキサー食なので食事の準備ができなくなる？と不安に感じていました。水道・ガスも止まってしまう、その準備も必要ですがその準備はきりがないので困りました。障がい者に対する災害時支援が充実し、一人一人に行き届くようになってほしいと願っています。

(30代男性)

▼避難時期の判断が難しいと思った。

▼水と乾電池(懐中電灯)も十分あったがガスと電気が止まった場合の食料の買い置きがなかったのでカセットコンロを用意しておくべきだと思った。

▼緊急メールで2階以上などに避難してくださいと言われても、やはり車いすに乗っている息子とは遠慮してしまうし、大雨のなか外に出られないし、どうしたらいいか不安でした。

息子と二人の生活なので誰にも相談できないでいました。

別に近所の人とは普段はいろいろと話していますが、やはりいざとなるとネ。

▼本来地震での対策では開くはずの通所施設が水害では開かないのは知らなかった。

そのため準備が多くなり、おそらく子供と2人だけなら避難できなかった。(避難しなかった)かもしれない。近くのイオンも早くに閉店したため、垂直避難が簡単ではなかった。

我が家は1階なので今回のような台風なら階段を使えば上階に避難する方法も考えたい。

避難者用の電話番号も教えてもらったが、リダイヤルするも全くつながらなかった。

▼うちの居住するマンションの管理組合の方が2階のゲストルームなどを開放したのですぐ行ってくださいと、わざわざ言ってきてくださいました。こちらのほうがよっぽど頼もしいと感じました。

防災や避難などは自分たちの自己満足のためにするものではありません。

自治体・警察・自衛隊等々の方々には被災しなければ助けに来てくれないならば何の意味もありません。もっと事前に計画対応を的確にするようにお願いします。あちこちの被災地でいろいろ報道されているのをみると明白は我が身ですよ!! 地域一体となることがどれほど難しいことか。税金その他をと徴収することばかり考えていないで区民国民のことをもっともっと真剣に考えてください。うちは災害弱者ではありません。そうしている上部組織だと思えます。あいのわ福祉会様や園等からは1回のメール、電話もありませんでした。みなさん“自分達の命は自分達で守りましょう”との声にご自分のことだけで精一杯だったのでしょうが、もし何らかの被害にあってもこちら方面の方々には連絡したくないと思いました。夕方～夜中のことだったし、園も休みだったので家にいましたが、もし、園にいるときに甚大な災害が起きた場合はどこに避難するとか何も決まっていないう状況でしょう。何年前前は緊急連絡メール等で全施設がつながっていたような気がします。新体制になっては区はおろか組織全体の連携は全くないと思えます。防災は自分たちだけの問題ではなく近隣や施設の重要な問題の筈です。もっと真剣にご検討ください。

▼いざという時の避難が大変であることを痛感した。避難するのも大変ならばできるだけ家で過ごしたい。今回は休日で家族が一緒だったので心強かったが子どもと二人だったらとても不安だったと思う。

- ▼障害をもつ家族を避難させるのは大変困難であることを実感。誰も頼りにならない。隣近所の方と励ましあうくらいはできて、翌日みんな無事でよかった！と声を掛け合えてよかった。今回はなんとか助かったが、強烈な災害が起きたら小さな備えだけでは不足だ。気を引き締めたい。
- ▼雨が降ってからでは避難するのは無理だと思います。避難所も近くの小学校の体育館では自宅にいるほうが安全だと思いました。(2階なので)
- ▼うちは団地の4階で高齢の父、障がい者の息子がいるので避難は考えなかった。綾瀬川が近いので時々5階から様子を見ていたが水位が上がってくると心配になった。同じ施設に通所している親子に声をかけ、うちに避難してきた。水の心配よりもEVが止まったり水や電気が止まったらどうしようと心配になった。団地の1階2階にも声をかけた。日頃のつきあいが大事ですね。
- ▼避難をするにしても車で移動しか考えられないので車を止められるようにしてほしいし、早めの移動といっても行く先が体育館では横にすることもできないので、第2次避難所の開設を早くに希望します。動物と一緒にアレルギーがあるので行かれないのでその辺の指定をしてもらえるとありがたいです。

(40代男性)

- ▼車で移動した場合、避難先で駐車できるのでしょうか
- ▼必要なものはすぐ持って出られるように準備をしておかないと！と思います。
- ▼水害・風による窓ガラスの破損(7階に居住しているので)が心配
- ▼家に男の人がいないので外に出るときどうしたらいいか心配していましたが、今回は早い時間に友達のご主人が迎えに来てくれたので、歩いて友達の家で避難でき助かりました。
- ▼一次避難場所の学校へは本人がパニックになるので行かれないと思い、通所施設の職員に電話をして施設を開けてもらえないかと聞いたが、一次の学校へとりあえず行き、区から要請があれば施設を開けるとのことでしたが、初めから施設をあけてもらえたら有難いと思いました。
- ▼川が氾濫したらどうしようか。とか、学校に避難するにも行くまでも大変。又、行ったとしてもあの場所(体育館)とかの様子を見ると、車いすでどのように受け入れてもらえるか心配。
- ▼どこかに避難したとして、ジッとしていられない障がい者なのでかなりストレスがかかりそうだと思います。みている親も疲れそうです。
- ▼避難先が不足してると思った。一人身の避難ならばすぐにできるが、障害のある子どもを伴っての移動はものすごく大変。結局、自宅待機を選んでしまう。

(50代男性)

- ▼学校にエレベーターが無く、上の階に上がれない
- ▼いざとなったらみな我が身…複雑ですが、やはりかぞくできちんと対応していかないといけないのだと思いました。待っていたら死んでしまうので…

台風 19 号を経験して アンケート 自由意見 (年代別・女性)

(10 代女性)

▼福祉避難所はいつ、どのタイミングで開設されるのでしょうか？できれば普段から慣れている学校を避難所として開設していただけるとありがたいです。きっとハンデを持った方々、避難をためらう方々が少なくなかったと思います。思い切って避難してみましたがいかに居心地よかったです。「この避難所いいです!!」ということと、避難する方はこれ(歯ブラシ、おしりふき、スリッパ、バスタオル)を持参するとべんりです。伝えなかったです。避難所へは自家用車で行っても良いのか否か分からなかった。

▼台風の後も(雨が上がった後も)子供の父は仕事があり、もし家族バラバラで避難していたら余計に連絡等不安だったと思います。障害のある方、無い方と連絡を取っていましたが、(障害の)ある方は自宅にいた方がほとんどでした。(障害の)ない方でお年寄りの方、早めに避難している方はいっぱいと聞いていたので、今のところまたこういうこと(災害)がおきても避難するかどうか迷ってしまいます。

(20 代女性)

▼10月11日(金)昼過ぎ福祉事務所から早々と安否確認がありました。人工呼吸器を使用している方に連絡してますと…避難しますかって。そんなことより駐車場、エレベーター医療機器の電源が確保できる避難所を教えてください。避難しないと決めたので防災連絡は迷惑なだけだった。足立区はほかの区より遅れているのでは？

▼停電でエレベーターが動かなくなること…都営団地に住んでいます。4階のためエレベーターが動かなくなると、身動きができなくなります。避難場所は普通小学校となっているため重度の肢体不自由の娘にとって居場所がないと思われ、娘もわたしも避難することは考えていません。

▼周りの人たちが避難しているか分からなく、少し不安になりました。家族が皆家にいたので不安はありませんでした。一人住まいの娘の友達が不安で何度も TEL がありました。やはり若い子は特に不安になるのでその点も考えてほしい(周りの人たち)それと、メディアに多少惑わされているところもあるので、ちゃんとした確かな情報が欲しい。

▼早めの避難を考え行ってみることも大事な体験になるのかな？家にいて本当に何かあったときに、自分だけではどうすることもできない怖さを思い知らされた感じでした。改めて考えることはたくさんあると思いました。こうなる前の訓練の大切さを思いました。障害者を連れて学校や近隣の色々な所へ行くことの大切さを思いました。ご近所の方やたくさんの方に障害の子を知ってもらうことの大切さ、本当に自分だけではどうすることもできなくなったときに障害の子と 2 人で家で被災したら助けを求めにくいことも、飲み物、食べ物を取りに行けない。ほんとうに怖いです。

▼避難する学校には発電機があるか？

▼今回は8階ということもあり、我家は様子を見ましたが、途中地震もあったり、停電や竜巻なども考えると不安な気持ちになりました。今回は大丈夫でしたが、あの雨の中避難と言われても、雨風のなか娘を連れていく…という行動に出られるか!!ましてや水・食糧・毛布など各自で持ち込む等できるのか。不安でした。TVの情報を聞きながら家族と話すきっかけとなりました。

▼避難所にエレベーターのあるところが少ないと思った。氾濫したら車イスの人はどのように移動すればいいのか不安がある。

▼緊急メール Aメールが、頻繁に鳴るなか、どの時点で避難すべきなのか、避難するにしても避難所に子供が静かに居られるか、パニックを起こさないか避難所にいる人が嫌がらないか、一人で連れて行くことができるか不安でした。役所？からなのか電話が来ましたが音声案内の最後が聞けなくて切ってしまいました。その後何の連絡もなかったですが、何のための電話だか分からなかった。避難指示のメールがたくさん来てるし、電話で何をしたかったのだろう？

▼外のものが飛んできて、窓が割れないか不安はあった。買い占めなどで品切れが多くあるのが困った。

▼今回は荒川の氾濫は免れましたが万が一氾濫して荒川の水が押し寄せてきた場合、どうしたら家族の命が守れるのだろう…第一には水に流されない、溺れないようにするには浮き輪？ボートとか？…命が助かって避難生活をするときに必要な物の再確認(家の場合避難場所の場合それぞれに…)生活を立て直すためにはやはりお金が必要。全てを失った場合、備え蓄えは必要である。等今回初めて真剣に考えました。要支援者だから誰かが助けてくれる！は無いと考えておいたほうがいいです。自分の家庭は自分で守るしかないと思いました。

▼今回は洪水にはならずには良かったが、万が一洪水になった場合、膝丈でも大人が1人では水の中を歩くのも困難だとテレビで聞いた。車イスを連れての避難は絶対無理だと理解し、今後は今まで以上に早めの準備と避難が必要だと改めて考えさせられました。

(30代女性)

▼エリアメールが6回もありとても不安で怖かったです。

▼特にありませんが6階なのでエレベーターが作動しなくなったら困りますね。食料品等は買い置きが必要かなと思います。時期によってはカイロとか冷却シート等。卓上コンロ、ポンペ等はいつも用意してあります。我が家は七輪炭もあります。(土鍋でごはんも炊けます)

▼特に不安に思ったこと困ったことはなかった。強いて言えば自転車置き場の自転車が共倒れになることを予想して、他の場所に移動したら倒れも濡れもせず良かった。ベランダに置いてある大きな鉢植えだけでは大事にしていたので、ビニール掛けて縛っていたのですが、吹っ飛んでいましたが、大丈夫でよかった。

▼アンケートお世話様です。いつもお世話になっています。いつも子供たちのことをご配慮いただきまして、感謝申し上げます。足立区も避難あったのですね、私どもはおかげさまで安心でいられたことにほっとしていました。ありがとうございます。

▼体の不自由な家族がいる場合には一般の避難者と一緒にはなかなか難しい。人に対して気にかけてしまうので、一次避難、二次避難の区別をはっきりさせてほしいです。不自由な中、二度の移動は絶対に無理。いままで地震のための対策ばかりでしたが、水害について考えてほしい。施設としても考え(あいのわ福祉会)施設が利用しやすいのでは？施設からの安否の確認はないのですか？

▼東京は、今回は何とか。地震だったらどうかな？台風、団地の周りが水がでたらどうかな？と思いつつながら“東京防災”を出してよく読んでもう少し準備をしておかなくては。と思いました。実際に(災害に)なったらって思うと固まるばかりとニュースを見ていました。避難地域には入りませんでした。後から聞くと200人～300人指定された所へ避難していたそうです。土手に近い人、一人家族の方、大変ですね。

▼マンションでもエレベーターが止まったりしたら、たとえ2階でも大変なことが考えられました。車いすなので水が上がってきたら移動などどうするか？現実的に不安や恐怖など怖いことはたくさんある事を思いました。

▼今回の経験は非常に勉強になりました。実際に避難しようと思ったときに車いすが動けなくなるのでは。車での移動が無理な場合はどうしたらいいのか。避難所で興奮して泣き叫ぶ。おむつを交換できるのか？等。家での対応も限界があり、母子だけでは動くことができない。(主人がいるとは限らないため)「実際に避難に行ったがいっぱいで他の所へ行ってくれと言われた」「車は置いてきて。と言われた」等聞くと自宅から避難所に行くときに先にどこがいいか調べないといけないのでは…不安になりました。

▼不安に思ったことは、もし停電したらどういう生活になるのか。3・11の時に2日経験したが。それ以上になったら子供が暑さに耐えきれない

▼川の氾濫になるかもしれないと聞くと家には危ない。と思いました。これから毎年大きな台風がやってくる様になると周りに高い建物があまりないので困ります。(5階以上)避難するにもいろいろ持っていくものが多くて大変だと思いました。

▼電気が止まった時はどう動いたらいいか。エレベーターも止まるでしょうし、不安になります。

(40代女性)

▼荷物を持っての移動は無理です(手伝いが無ければ)。お迎えがなければ1日分の荷物しか持てません。

▼過呼吸の持病を持っているので避難場所での対応が難しいと思った。たくさんの人の中では過呼吸を起こすことが目に見えるようで。車いす対応で歩くこともできないので気心のしれた安心できる場所でないとなかなか目なことがよくわかりました。(1人住まい)家族はなしで障害者。

▼最重度の障害者で、自力で避難などできない。近隣住民の協力が得られなければ、その場にとどまるしかないと考えた。(今回は母の生活圏ではなかった)

▼障害者が1人で逃げるのは難しいです。迎えにきて一緒に行くことができたらいいと思いました。

▼古い建物なので、すきま風があり音で不安になりました。娘の体調が良ければ家での生活が一番ですので、食べ物の購入ができれば特にありません。

▼心配だったのは隣の横にある電信柱が強風で倒れて我が家を直撃したらどうしようと思っていました。

▼停電になったら困るなど思った。子供の体調を考えるとなるべく家にいたいので、どのタイミングで避難したらいいのか考えた。

▼まず、どこへ避難することができるのかを考えました。

* 法人の施設で受け入れていただけたら心強い。* 受け入れてくださる病院があったら安心。

* 友人等のマンションに避難させていただく。(今回数人の方より避難してくれば、と声をかけて頂き心強かったです。早めの行動が必要ですね!!今回の台風は我が家にとって良い勉強になりました。

▼今までの質問は軽度の障害者のみの質問です。施設が避難所に指定されたことは前進ですか?隣に住んでいるわけでもなく、通常の道がなく(混んでるとか物が散乱しているとか)車いすを押してどうやって行くのでしょうか?マンションの理事長が来ましたが家庭にいるしかないとしが言えませんでした。考えれば考えれば考えるほど、いい案は浮かびません。そのときはあきらめるしかないので。(脳性まひによる四肢体幹機能障害1種1級)

▼近所の避難所を見に行きました。無人で受付もなく、体育館の照明はありましたが、敷物等なにも見えませんでした。洪水時には避難先がない。法人の施設において防災対策を強化してほしい。(一番安心できる場所だと思う)新しい施設を建設する場合は洪水対策として5階以上とし、上層部に台所風呂なども設置してほしい。

▼私どもにはひとりで動けないものが2人いますので、何かあったら動かないようにしています。

▼友人、家族が綾瀬川近くに住んでいるので心配して何回もTELし、ようやくつながった時は知人宅に避難していて、本当にほっとしました。自宅で不安だったのは停電にならないかと…。今回は台風でしたが、地震の時は自宅にいられないことも考えなくては…。障がい者家族が安心して避難できる所を用意してほしいです。

▼避難はしないつもりです。移動は簡単にできないので、避難所での生活は無理(トイレ等)です。

▼足立区ではどの避難所もいっぱい急遽場所を増やしたと聞きました。障がい者にはどうだったのか知りたいです。災害の大きさを知り、まだまだ甘かったと思いました。地震になればどこで遭遇するかわからず不安です。

(50代女性)

▼荒川、綾瀬川の氾濫が心配だった。

▼食糧や電気、ボンベなどは(用意)できますが、子供をどのように水の中を移動できるのか不安でした。

▼必要以上にエリアメールに不安になり、あまり眠れませんでした。

▼立場の弱い人の移動の不安等どう判断すればいいのか…考えると精神的に疲れを感じました。

▼身障手帳と愛の手帳保持者です。日々、舎人あかしあ園でいろいろ支援を賜っています。本人は話せないので連絡帳が頼りでご指導いただいています。自宅で避難するしかないと思った。荒川などの河川の氾濫は今後とも心配されるので、今後対策を練ってなきようにしてください。

(60代女性)

▼風雨がおさまることを願うばかりでした。

令和2年2月12日

都立城北特別支援学校 於：多目的室

次 第

1. 会長あいさつ
2. 足立区の職員ご紹介
3. 会員の体験及び問題提起 地震との違い 日頃の備え
4. アンケートのまとめと報告
5. 台風以降の足立区の対応及び課題
6. 質疑応答・区への要望
7. 今後に向けての意見交換

主催：足立区重症心身障害児(者)を守る会

< メ モ >

「台風19号による災害から改めて考えたこと」アンケートまとめ

1 障害児者本人の状況（避難する上で必要な情報、記入したいことのみでよい）

どんなケアが必要かなど（重複しています）

① 吸引 13 ②呼吸器 12 ③胃ろう（腸ろう）12 ④導尿 2 ⑤低体温 2

2 居住状況

① 1階 4 ②2階 8 ③3階 3 ④4階 0 ⑤5階以上 2

3 事前に対策をしたこと（上の階に必要なものを運んだなど）

準備したもの

- ・充電（車シガーライターケーブル）・食料（水）・ガソリン
- ・発電機・バッテリー・懐中電灯
- ・ラジオ・酸素ボンベ
- ・窓ガラスに飛散防止シート
- ・ベランダの片付け
- ・自宅用自助バック用意
- ・必要なものを一か所に準備
- ・栄養剤と水を入れ替え
- ・家族を呼んだ
- ・水の汲み置き

4 当日の行動

避難した	7	避難していない	10
(避難先) 公の避難所	1	(理由) 必要なものが多いこと	
家の中の上の階	3	移動困難	避難所の階段
集合住宅内上階	1	自宅が安全と判断	
友人、親戚宅	2	避難することのほうが危険と判断	

5 困難だったこと

- ・上層階に居住しているのでエレベーター停止時を考えておかなければと思った
- ・自宅待機の自助力は十分あるのか
- ・周囲の助けは借りることができるのかが心配
- ・早めの行動（実家への避難）ができてよかった
- ・浸水時の対策
- ・避難するかしないかの判断が難しい
- ・子供の命を守るための準備は万全か
- ・避難場所の指定場所は適していない、対応の不安とわからないことが多い
- ・二次避難所の開設のタイミングは決まっているのか、どう周知されるのか
- ・避難をして周囲への周知が図ればよかったか
- ・車の避難場所
- ・ペットの避難先

6 個人的な要望、全体的な要望

(行政に向けて、対策、避難所、避難通達の方法など)

- ・病院への避難なら安心。避難場所の不安は自宅がより安全だと思い避難しない判断をする
しかし不安はある。福祉事務所の担当の方からご連絡を頂けると心強い
- ・安心して避難できる場所が欲しい(スペース、電源、トイレ、非常物資)
- ・避難所の情報を流してほしい
- ・子供の状態で避難を躊躇することのないようにしたい
- ・災害の種類によって避難場所が異なる。また子供の状態、支援者がいるのか、避難時の移動手段が確保できるか。区の支援者リストの登録でどんな支援をしてもらえるのかが、今回も全く分からなかった
- ・施設の開放を望む
- ・水害対応の避難場所はないのではないかと。どこも危険な場所ではないか
- ・自家発電のある避難所への受け入れを望む。またその情報は事前に欲しい
- ・行政、家庭、施設(学校)、かかりつけ医のネットワークの必要性を感じる。厚労省のMEISの活用はできないか
- ・避難所においても医療機器を使える環境整備をお願いしたい
- ・低体温のため長時間の保温が必要。環境整備、対策をお願いしたい
- ・避難所に避難する行程をマニュアル化して欲しい
- ・台風の前には連絡を受けたが台風後は連絡がない。後からの情報収集が問題提起や共有には大事なことはないのか
- ・体育館ではなく教室などを重症児者用に開放して欲しい
- ・自助、公助、共助のうち自助が何より大切と感じた。共助は地域の関係性で作られるものだと思う。公助の整備見直しをして欲しい
- ・停電が長引いた場合も避難先の確保をして欲しい
- ・避難援助の申し込み電話はつながらなかった。避難勧告や避難場所を指定して直接連絡をもらいたい

令和2年2月

足立区重症心身障害児(者)を守る会

令和元年台風19号対応に係る意見交換会

次 第

1 台風19号に伴う足立区の対応及び課題に向けた対応について

- (1) 足立区の対応
- (2) 課題と対応策
- (3) 水防体制再構築本部

2 意見交換

- (1) 避難所の開設・運営に関すること
- (2) 区からの情報発信に関すること
- (3) その他

資 料

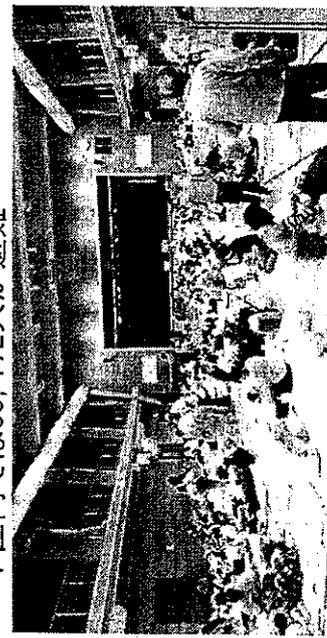
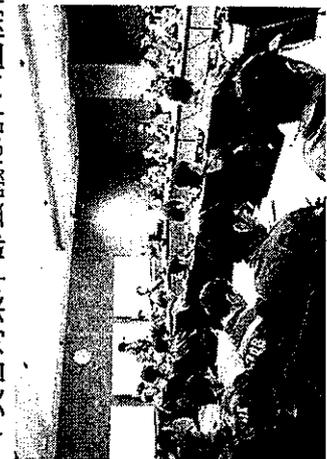
- P 1 台風19号の接近に伴う足立区の対応
- P 2 災害対策で顕在化した課題と対応策① 避難所開設・運営
- P 3 災害対策で顕在化した課題と対応策② 区からの情報発信
- P 4 水防体制再構築本部
- P 5 台風19号 区立小学校・中学校避難者数一覧
- P 6 台風19号 緊急避難建物避難者状況一覧
- P 7 台風19号 避難所・緊急避難建物開設日時等一覧

台風第19号の接近に伴う足立区の対応

10月8日(火)	17:30	「水防準備本部」設置 ※あたち区民まつり中止決定
10月11日(金)	9:00	「災害対策本部」設置
	16:00	避難所6か所開設
10月12日(土)	8:00	足立区全域に「避難準備・高齢者等避難開始」発令
	8:00	避難所14か所開設
	12:00	避難所10か所開設
	15:00	足立区全域に「避難勧告」発令
	15:00	避難所66か所開設
	16:00	避難所8か所開設
	16:00	※ほぼ全小・中学校が避難所に
	17:30~	緊急避難建物21か所の開放を案内(区施設15、区以外施設6)
	21:30	綾瀬川流域に「避難指示(緊急)」発令
	21:30	綾瀬川流域に緊急避難建物9か所の開放を案内(区以外施設9)
10月13日(日)	9:00	綾瀬川流域の「避難指示(緊急)」解除
	8:00	緊急避難建物すべて閉鎖
	11:30	足立区全域の「避難勧告」解除
	11:30	避難所を順次閉鎖
	11:30	「災害対策本部」を解散
	11:30	「水防本部」へ移行
10月14日(月)	2:55	「水防本部」解散

▼災害対策本部会議は計14回開催

▼区内では33,172人が避難



▼13日午前7時頃の荒川



「緊急避難建物」とは
浸水しない地域に避難する時間
的余裕がない場合、緊急避難
するための施設で、避難生活な
どの長期滞在を想定しない建物

水害対策で顕在化した課題と対応策① 避難所開設・運営

課題

① 避難所開設が一斉にできなかった

風雨や河川の状態を見ながら、避難所を順次開設したため、先行して開設した施設に集中するなど、避難行動に混乱が生じた。

② 区職員による避難所の開設準備に遅れが生じた

避難所へ派遣した区職員が、開設する手順を十分に理解できていなかった（鍵開け、受付準備、避難者の誘導など）。

③ 地域住民と連携した避難所運営ができなかった

現在、水害時は区職員が避難所運営を行うことになっているため、地域住民との役割分担ができておらず、区職員のみでは、マンパワーが足りなかった。

対応策

① 避難所を一斉に開設

荒川氾濫が危ぶまれる場合、一斉に避難所を開設できるよう、職員の参集タイミン・現場への派遣タイミン、配備計画を再構築する。

② 各避難所の開設のルールの作成と訓練実施

職員が速やかに避難所に駆けつけ、施設の開錠、避難者の受入準備ができるよう、施設ごとの手順書を見直し、かつ日頃から訓練を積んでおく。

③ 地域住民の力を借りて避難所運営

多数の避難者対応や、備蓄物品の移動などには、地域の協力が不可欠であるため、地域住民と一体となった運営方法を早急に検討する。

別紙 3

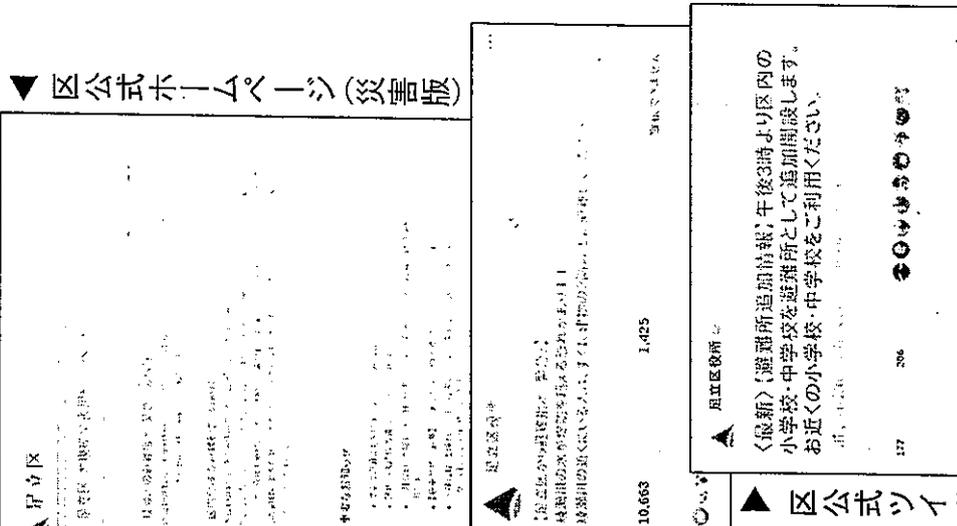


▲避難所内へ入るための順番待ち

▼受付で避難者名簿に記載



水害対策で顕在化した課題② 区からの情報発信



課題

- ① 防災行政無線や広報車の音声が届き取れなかった
 風雨が強い時は、防災行政無線や広報車等から流れる声が届き取れず、情報を得られなかった。
- ② A-メール、公式SNS等への当日登録者が多かった
 台風接近により風雨が強まってから、情報収集のため急遽A-メール等を登録する区民が多数見られた。
- ③ 避難所に配置した職員の情報量不足および避難所内の情報格差が生じた
 災害対策本部の情報を、うまく各避難所の職員に伝達できず、区民に提供できる情報量が不足した。
 避難所内の情報共有にも課題があり、避難者ごとに情報量に格差が生じた。

対応策

- ① 電話で再確認できることを周知
 防災無線テレホン案内(放送内容を再確認可能)の周知徹底と回線数追加の検討により、区民の不安を軽減する。また、広報車での荒天前の情報発信方法を再検討する。
- ② A-メール、公式SNS等への事前登録を勧める
 災害時の情報収集手段としてインターネットの有効性を積極的に広報し、平時からの登録者数の増を図る。
- ③ 災害対策本部からの情報が避難者まで伝わるような手法を検討
 庁舎と現地職員の確実な情報伝達手段をあらためて検討する。
 避難所内の掲示板設置の徹底など、インターネットが使用できる区民と、できない区民の情報格差の解消を図る。

水防体制再構築本部

令和元年11月5日設置

水防体制再構築に向けた庁内検討

- ・ 区の水防体制を再構築
- ・ 各部会を設置し、詳細内容を検討

本部長：区長

専門的知見を持つ
コンサルティング事業者

足立区総合防災アドバイザー 松尾 一郎

情報発信部会

- 防災行政無線
- A-メール、SNS
- ホームページ
- 新たな情報発信方法
- ラジオ
- J: COM
- あだち安心電話
- 足立区防災ナビ 等

避難所運営部会

- 避難所開設・運営体制
- 鍵の管理
- 備蓄物品の見直し
- 各学校との連携
- 新たな避難所の設定
- 要配慮者対策
- ペット動物同行避難 等

垂直避難部会

- 緊急避難建物の設定
- 環境整備基準見直し
- 公共施設等整備基準・公共建築物整備基準の見直し
- 民間建物との協定
- 高台整備
- マンション住宅への避難 等

学校整備部会

- 浸水深の表示
- 改築順序の再検討
- 構造検討(免震・高さなど)
- 避難場所の位置の検討
- 共用部の面積の見直し
- 備蓄倉庫の規模、位置 等

コミュニティ タイムライン部会

- 地区の選定
(宮城・小台地区)
- 地域協議会の運営
- 地域の特性の分析
- 地域課題の抽出
- 避難先の検討 等

～令和2年5月 避難所開設手順書(案)完成
訓練実施

区施設の新築、改修時における機能向上
区施設の新築や改修時に水害対策として盛り込める機能を検討し、今後、可能な施設から導入

民間建築物への協力要請

建物建設時に、水害に強い構造、機能を盛り込むよう、啓発や協力依頼する方法を検討

令和2年度中に
地域防災計画の改編

別冊3

台風19号 区立小学校・中学校避難者数一覧 別紙3

※ 令和元年10月16日 午後4時時点

	学校名	避難者数
1	青井小学校	128
2	足立入谷小学校	38
3	足立小学校	1287
4	綾瀬小学校	469
5	伊興小学校	364
6	梅島小学校	857
7	梅島第一小学校	261
8	梅島第二小学校	355
9	桜花小学校	250
10	扇小学校	341
11	大谷田小学校	458
12	加平小学校	448
13	亀田小学校	234
14	北三谷小学校	317
15	北鹿浜小学校	217
16	興本小学校	246
17	栗島小学校	312
18	栗原北小学校	192
19	栗原小学校	160
20	弘道小学校	294
21	弘道第一小学校	261
22	江北小学校	76
23	高野小学校	248
24	古千谷小学校	323
25	皿沼小学校	105
26	鹿浜五色桜小学校	556
27	鹿浜第一小学校	198
28	鹿浜西小学校	219
29	島根小学校	410
30	新田学園	567
31	関原小学校	1143
32	千寿桜小学校	820
33	千寿小学校	592
34	千寿常東小学校	625
35	千寿第八小学校	408
36	千寿双葉小学校	650
37	千寿本町小学校	836
38	竹の塚小学校	119
39	辰沼小学校	418
40	寺地小学校	243
41	舎人小学校	185
42	舎人第一小学校	386
43	中川北小学校	352
44	中川小学校	265
45	中川東小学校	286
46	中島根小学校	240
47	長門小学校	383
48	西新井小学校	676
49	西新井第一小学校	150
50	西新井第二小学校	266
51	西伊興小学校	215
52	西保木間小学校	18

	学校名	避難者数
53	花畑小学校	287
54	花畑第一小学校	181
55	花畑西小学校	173
56	花保小学校	193
57	東綾瀬小学校	427
58	東伊興小学校	245
59	東加平小学校	285
60	東栗原小学校	196
61	東溯江小学校	247
62	平野小学校	220
63	溯江小学校	115
64	溯江第一小学校	87
65	保木間小学校	42
66	宮城小学校	154
67	本木小学校	1286
68	弥生小学校	269
69	六木小学校	658
70	青井中学校	251
71	伊興中学校	103
72	入谷中学校	24
73	入谷南中学校	33
74	扇中学校	180
75	加賀中学校	226
76	蒲原中学校	205
77	栗島中学校	324
78	江南中学校	43
79	江北桜中学校	387
80	鹿浜菜の花中学校	192
81	千寿青葉中学校	4
82	千寿桜堤中学校	238
83	第一中学校	506
84	第四中学校	214
85	第五中学校	140
86	第六中学校	300
87	第七中学校	356
88	第九中学校	500
89	第十中学校	112
90	第十一中学校	335
91	第十二中学校	210
92	第十三中学校	164
93	第十四中学校	126
94	竹の塚中学校	18
95	西新井中学校	399
96	花畑北中学校	151
97	花畑中学校	122
98	花保中学校	326
99	東綾瀬中学校	326
100	東島根中学校	160
101	溯江中学校	259
102	谷中中学校	563
103	六月中中学校	204
	合計	32,233

台風19号 緊急退避建物（区施設、協定締結先など）避難者状況一覧

※ 令和元年10月16日 午後4時現在

	分類	施設名	避難者数
1	区施設	中川区民事務所	101
2		生涯学習センター	195
3		梅田地域学習センター	24
4		興本地域学習センター	16
5		江北地域学習センター	0
6		佐野地域学習センター	0
7		鹿浜地域学習センター	5
8		新田地域学習センター	2
9		竹の塚地域学習センター	0
10		中央本町地域学習センター	3
11		東和地域学習センター	9
12		舎人地域学習センター	15
13		花畑地域学習センター	13
14		保塚地域学習センター	8
15		ギャラクシティ	12
16		総合スポーツセンター	41
17	都立施設	江北高校	30
18		荒川商業高校	0
19		足立新田高校	0
20		足立工業高校	0
21		青井高校	5
22		足立高校	20
23		湊江高校	0
24		東京武道館	10
25	私立小・中学校等	足立学園	200
26		東京朝鮮第四初中級学校	46
27		足立特別支援学校	0
28	区内大学	東京未来大学	3
29		帝京科学大学	10
30		東京電機大学1号館（2階）	105
31	協定締結機関	東京拘置所	66
32		一般財団法人海外産業人材育成協会	0
合 計			939

台風19号 避難所・緊急避難建物開設日時等一覧

令和元年10月11日(金)		
時間	箇所数	施設名
16:00	6	大谷田小、加賀中、舎人第一小、 中川区民事務所(3階)、長門小、花畑北中
令和元年10月12日(土)		
時間	箇所数	施設名
8:00	14	中川東小、六木小、谷中中、淵江中、東綾瀬小、栗島小、足立小、 西新井中、梅島小、扇小、本木小、新田学園(第1校舎) 千寿第八小、千寿本町小
12:00	10	第一中、花保中、東島根中、島根小、淵江小、伊興小 鹿浜五色桜小、関原小、高野小、舎人小
15:00	66	青井小、足立入谷小、綾瀬小、梅島第一小、桜花小、興本小、加平小 亀田小、北三谷小、北鹿浜小、栗原小、栗原北小、弘道小 弘道第一小、古千谷小、皿沼小、鹿浜第一小、鹿浜西小、千寿小 千寿桜小、竹の塚小、辰沼小、中川小、中川北小、中島根小 西新井小、西新井第一小、西新井第二小、西伊興小、西保木間小 花畑小、花畑第一小、花畑西小、花保小、東伊興小、東加平小 東栗原小、東淵江小、平野小、淵江第一小、保木間小、弥生小 青井中、伊興中、入谷中、入谷南中、扇中、蒲原中、栗島中 江北桜中、鹿浜菜の花中、千寿青葉中、第四中、第五中、第六中 第七中、第九中、第十中、第十一中、第十二中、第十三中 第十四中、竹の塚中、花畑中、東綾瀬中、六月中
16:00	8	梅島第二小、江北小、千寿常東小、千寿双葉小、寺地小 宮城小、江南中、千寿桜堤中
17:30	15	生涯学習センター、ギャラクシティ、総合スポーツセンター 地域学習センター(梅田、興本、江北、佐野、鹿浜、新田、竹の塚 中央本町、東和、舎人、花畑、保塚)
20:00 ※	4	帝京科学大学千住キャンパス本館、東京未来大学B棟 東京武道館(第一・第二武道場)、東京朝鮮第四初中級学校
21:00 ※	2	足立学園、東京電機大学東京千住キャンパス
22:20 ※	7	都立高校(江北、新田、青井、足立、淵江、足立特別支援) 一般財団法人海外産業人材育成協会
22:53 ※	2	都立高校(足立工業、荒川商業)

※ 開設時刻ではなく、区民の皆さまに開設をお知らせした時刻